

令和2年度 高丘中学校区コミュニテースクール

第3回学校運営協議会

2020年（令和2年）12月24日

於：明石市立高丘中学校

司会：藤田校長（高丘西小）

記録：本山（高丘西小）

1 開会あいさつ（松尾会長）

あまり年末を感じない。公園では、子供たちが元気に遊んでいる。
感染も増えているが、気を付けて過ごしたい。

2 高丘中学校区 2学期の推進状況について（詳細は別紙にて）

（東小 石崎校長）

ため池クリーンキャンペーン（12月13日）

「地域の宝」（3つの池）の清掃活動に、5、6年の子どもサポーターと1～4年の希望児童が参加した。あまり、ゴミは多くないよう思ったが、100名程度で活動することで、意外とたくさんのゴミが集まった。たくさんの地域の方、関係の方と活動できたことは、意義があるものであった。

（西小 藤田校長）

CSサポーター（グリーンサポーター）3名登録

学校敷地内の草刈りなどを中心に活動してもらった。今後は、子どもたちとともに活動できる内容を考えていきたい。

子どもサポーター

敬老会では、主催者側の役割の一端を担って、スタッフとして活動した。他にもグランドゴルフ大会、あいさつ運動、校区を歩こう会等を行った。子どもたちが参加するだけでなく役割の一端を担うような参画する内容を今後も検討していきたい。

* 3学期には、参加した子どもたちの感想等を交流したい。

3 高丘小中一貫教育校としての取組について

○市教育委員会より（米村指導主事）

- ・昨年度末（3月）学校運營業議会にて説明後、4月には各小学校のPTA総会で説明をする予定であったが、感染症拡大のため、紙面（高丘小中一貫教育校通信）での報告をさせていただくことになった。
- ・募集を広げる過程で、進学校を作るという誤解が生まれてしまった。高丘中校区には、小中一貫という特色を持たせるということであり、進学校を作るわけではない。
- ・応募状況は、現在全部で56名。人数確定ではなく、今後も増減する可能性がある。（クラス数の確定は未定）

学習環境を整えていく手立てとして

- ・30人学級
 - ・外国語教育の充実・・・ALTを重点配置する。小学1年生から外国語教育を始める
 - ・ICT機器の整備・・・映像や音をフルに活用した教育を行う
- 具体化を各小中学校に依頼し、進めているところである。

○3校で協議していること（西口校長）（詳細は別紙にて）

各月に1回、リーダー会議を行っている。（各校長、担当教諭、市教委）

校訓	「強く・すなお・思慮深く」
教育目標	「 <u>高い志をもち</u> 、未来を担う子どもの育成」
目指す子ども像	「未来に希望をもち、夢をかたちにする子」 (詳細は別紙)



承認
今後、これをもとに今後の取組を考えていく。

（質疑）

小学校には校訓は？

→現在はない。高丘中には以前から校訓があるため、一貫校として校訓を定めたい

9年生という言い方になりそう？進んで欲しい・・・

→まだお答えできない。義務教育学校では、1年～9年という言い方をする。現在検討中。

次年度からの取組案について

（質問・意見）

・学校名について

→ 高丘小中一貫教育校 明石市立高丘西小学校

従来の校名に冠がつくイメージで、大きな変わりはない。

・校歌について

→ それぞれの校歌にも歴史がある。それプラス「丘を吹く風」を教育一貫校としての校歌とする

・理想的な姿はわかるが、学力の差や生活の差の救済をどのように考えているか？

→ 数英応援団など協力的な地域の方も多し。小中の教員の兼務、交流により、情報交換、指導法の検討等生かしていきたい

・中学校、小学校に子どもたちが通っている保護者からの意見として、もっと説明をしてほしい。本当に明石市内全域から通えるのか？等、不安に思っている様子が見られる

4 情報交換

○各校の2学期の様子（学校行事や感染症対策等について）

（高丘中 加藤先生）

・落ち着いている。あいさつがよくできている。

・行事についてはすべて縮小化。

・中3 修学旅行 10月終わり 1泊2日（淡路徳島方面）規模は縮小したが、ねらいは計画通りで充実した活動ができた。

・中2 トライやるウィーク 地域をフィールドワーク（1日間）→北高、大学との連携

3学期の行事

・中1 スキー合宿は中止。学年全体で動くことができない。リーダー指導ができない。という考えが出てきている。

・中2 部活でよくがんばっている。

・中3 三者懇談を終えて、ほぼ進路が決定。今後、入試方法が変更されていく可能性がある。

・自己肯定感を高める働きかけをしていきたい。

（高丘東小 川崎先生） **詳細は別紙にて**

（高丘西小 本山）

・PTAの協力のもと、感染症対策を講じながら各行事を行ってきた。

（体育大会、音楽会、オープンスクールなど）

・5年生自然学校、6年生修学旅行 規模、交通手段等を変更して無事に行事を終えることができた。

○各委員から（高丘校区の児童生徒の様子や地域行事等）

- ・毎日出会う子どもの優しさを感じた
- ・登校時刻が遅い児童と地域の方とのふれあい。転校生の子と一緒に登校できるようになって、表情もよくなり、楽しそうに登校できるようになった。
- ・中学校でのあいさつ運動。目を見て気持ちの良い挨拶ができています。マスクエチケットもしっかりできています。
- ・4年生の福祉スクール。一生懸命に取り組んでいた。地域が参加できない行事が多くて、残念だった。
- ・ブックファミリーの取組が再開できてよかった。
- ・地域の高齢者は地域の子どもの成長や笑顔が力になる。いろいろなところでサポーターとして参加させてもらいたい。
- ・11月22日 グラウンドゴルフ大会。150名程度の参加で大盛況だった。
- ・敬老会。幼稚園、小学校、中学校等にも映像で参加してもらい、高齢者の方に大変満足してもらえた。映像以外でも、子どもたちの温かい誘導や声かけに微笑んでおられた。
- ・年末警戒にも参加者が増えている。「何かしたい」という思いを持つ人が多い。災害救援隊、災害救助隊を自治会として作っていく→小中学生にも参加してもらおう方向で考えていきたい。

連絡

- ・来年度のトライやるウィーク 11月開催予定。日数は未定。
- ・明石市立学校園の儀式的行事の日程について
入学式 小学校4月9日 中学校4月8日
2学期の始業式。 小学校8月26日 中学校8月23日

5 閉会あいさつ（金井副会長）

地域と学校との交流が大きく進んだと思う。

小中一貫校についても今後の取組に期待している。